

公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

名古屋第一赤十字病院																							
<p>【地域において今後担うべき役割】（P27）</p> <p>当院は、本年 5 月、地域住民が医療と介護について、高度急性期から急性期・回復期・慢性期・在宅までをシームレスに適切な医療サービスを受受できるようにする事を目的に設立された、「名古屋西部・海部東部地域包括ケア推進協議会協議会（尾陽包括ケアの会：現在 60 施設が参加）」に入会（院長が副会長に、副院長が幹事に就任）した。</p> <p>今後、この会にも積極的に働きかけ、名古屋西部・海部東部地域を中心とした、地域包括ケアの推進に、寄与したいと考えている。</p>																							
<p>【今後持つべき病床機能】（P27）</p> <p>・高度急性期・急性期</p> <p>基本的には、現行の医療体制を中心に急性期医療を推進するとともに、公的医療機関として地域の医療ニーズに応えるべく、高度急性期、急性期の病床機能を維持する。</p>																							
<p>【今後の方針】（P28）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現在 (平成28年度病床機能報告)</th> <th></th> <th>将来 (2025年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>817</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">→</td> <td>817</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>852</td> <td>852</td> </tr> </tbody> </table>					現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)	高度急性期	817	→	817	急性期	35	35	回復期			慢性期			(合計)	852	852
	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)																				
高度急性期	817	→	817																				
急性期	35		35																				
回復期																							
慢性期																							
(合計)	852		852																				
<p>【その他の数値目標】（P29）</p> <p>医療提供に関する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：92.0%（平成28年度90.1%） ・ 手術室稼働率：82.8%（平成28年度81.9%） ・ 紹介率：81.2%（平成28年度77.0%） ・ 逆紹介率：100%（平成28年度76.4%） <p>経営に関する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率：42.0%（平成28年度45.5%） ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：0.4% （平成28年度 研究研修費/医業収益 0.4%） 																							